◎各ご家庭に配布しております。一部ずつお取り下さい。次号『まちかど』は令和5年4月発行予定です。
「まちかど」カラー版は、品川区役所ホームページからご覧いただけます。https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/

街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙

# まちかど

●荏原第一地域新聞●

第214号
令和5年(2023)2月発行
発行・事務局
◎荏原第一地域センター◎
小山3-14-1(〒142-0062)
TEL 3786-2000
FAX 3786-5385

## 花めぐり

### レンギョウ

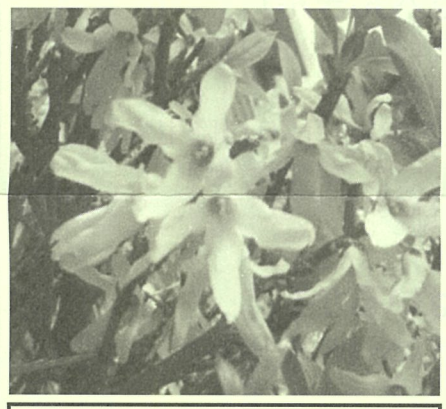
緑道公園を散歩している親子連れの会話が耳に入ってきました。「ママ、バナナのお花みたいだね。」小さな子どもの見上げる目線からはバナナの皮が開いた状態にそっくりに見えたのでしょう。思わず微笑んでしまいました。

ラッパのような形の黄色い花はレンギョウ。中国を原産とするもくせい科の落葉低木。日当たりのよい場所を好むので、公園や道路の植え込みとして広く植えられています。

「合弁花」と呼ばれる花で、見た目は4枚の花びらがあるように見えますが、根本は筒状になって合体しています。直径2～3cm程の黄色(黄金色)の小さな花を細かい枝に密集させて咲かせます。花色は黄色一色ですが種類によっては濃淡があります。

開花時期は3月中旬～4月中旬です。鮮やかな黄色い花は、春を告げる花として、目を楽しませてくれます。

(小山四丁目・東 美佐栄)



緑道公園にて撮影

## 荏原消防署90周年式典

荏原消防署90周年式典が、令和4年11月2日にスクエア荏原で行われました。

式辞では、荏原消防署の南部署長が、今年度管内で発生した火災と火災予防運動について触れ、「今後も様々な変化に柔軟に対応しながら災害に安全、確実、迅速に対応してまいります。」と挨拶されました。

表彰式では、荏原一丁目町会、小山一丁目町会、小山二丁目西部町会、小山二丁目東部町会、小山四丁目町会が人命安全対策推進に貢献した感謝状が贈られました。

記念演奏会では、東京消防庁音楽隊が曲中にサイレン鐘を鳴らして、消防活動を表現する消防ならではの曲『ハローファイアーマン』、旗を用いて演技するカラーガーズ隊と共に『雷神行進曲』などを演奏されました。

荏原第一地区は、地震に関する地域危険度がやや高い地域だそうです。住宅用火災警報器について、定期点検、設置から10年を目安に交換をしましょうとのお話がありました。

防火防災の知識や対策を知っておくといざという時に役に立つと思います。

(小山二丁目東部・大森 久恵)

## 地域防災活動(わがまちの地形から見る防災)

わがまち(荏原第一地域)の地形は、地形図で見ると目黒駅から不動前駅の目黒川低地と西小山の立会川緑道に挟まれる武蔵野台地に位置し、一部に浅い谷部は存在するものの地域内には急峻な起伏もない地形です。わがまちには土砂災害警戒区域に指定される場所は見当たらず、津波浸水や高潮浸水想定区域にも該当していません。また、東京には活火山もないことから、わがまちで起こり得る災害は、地震の揺れによる災害、降雨・風水害、火災の3つと考えられるのではないでしょうか。

**【地震の揺れによる災害】**わがまちは東京低地にある下町に対して高台の山の手にある武蔵野台地に位置し、軟弱地盤(沖積層)の堆積層が薄いことから、表層地盤での地震による揺れの増幅は小さいと考えられます。ただ、首都直下型地震は今後高確率で起きると言われており、大きな揺れに対する対策は必須です。一般に震度5強で固定していない家具が倒れたりブロック塀が崩れたりし、震度6強となると耐震性の低い建物は傾くものや、倒壊するものが多くなります。これらに対しては、家具の転倒防止器具の効果的設置と共に、揺れを感じたらブロック塀に近づかないようにしましょう。

また、わがまちにもある高層マンション特有の長周期地震動による建物の共振も最近では注目され、実際の震度以上の揺れを感じることがあります。こちらに対しても、家具の固定などの対策は必要でしょう。

**【降雨・風水害】**品川区のハザードマップでは洪水、浸水、高潮いずれのハザードに対しても、わがまちはごく一部を除き大半は色付けされていないことが見て取れます。近年の雨水処理を向上させ、浸水災害が起こりにくい地域と言えるのではないでしょうか。

**【火災】**わがまちでは木造住宅が密集しているため、広範囲に延焼する可能性があり、住宅火災の予防として一人ひとりが出火させない取組みと共に、減災をする為に火災の早期覚知、初期消火対策が重要です。

わがまちに起こり得る災害を認識して、「自助」に加え、地域で助け合い、被害拡大を防ぐ「共助」を心掛けることが重要です。地形から見える防災を再度各自で考えて災害に備えていきましょう。

【出典】
・品川区防災地図
・しながわ防災ハンドブック
～今からはじめるわが家の防災～
・区内標高図(品川区公式サイト)

(小山三丁目・防災士 澤田 俊一)

## 高齢者クラブ紹介

### 高砂会(小山四丁目町会)

高砂会は以前は100人以上の方がいましたが、今は男性22人、女性45人の合計67人の会員が在籍しています。

恒例行事としては、毎月第一土曜日午前8時30分頃から三谷八幡神社の境内の掃除を10人前後で行っています。町会行事の協力や品高連の芸能大会に参加、輪投げ、歩こう会なども行っています。

また、高砂会では会員の方に毎年9月にはギフトカード、11月には箱入のお菓子などを配布しております。

昨年4月12日に荏原第一区民集会所で行われた式にて、荏原警察署の署長様より「通学路安全運転呼びかけ隊」を委嘱されました。平日の午前7時30分頃から午前8時20分頃まで2人体制で見守っています。雨の日は特に注意をしています。私は毎日で、女性陣は曜日ごとに1人ずつ出ています。私たち6人は80歳を過ぎていますので、いつまで出来るか心配ですが、今は皆元気に頑張っています。

(高砂会会長・藤井 七太郎)

## シリーズ 品川平塚剣友会⑩ ～剣豪のお話～

剣道の歴史に眼を向けると様々な人物が思い浮かびます。鞍馬天狗であったり、机龍之介、時には赤胴鈴之助なんぞも入れてみたいと思ったりします。今の子どもたちに聞いてみたい気もします。誰を一番に掲げるでしょうか。やはり、剣豪として名の高い宮本武蔵ではないでしょうか。

武蔵は生涯、60回以上の勝負をして負け知らずであったと言い伝えられています。武蔵は真剣勝負に向けて準備を怠らず、情報を駆使して相手を観察し、勝ちが叶うか否かの判断を素早く捉え、叶いそうもないと思う相手に対しては、刀を抜かずに立ち去ったという説も有ります。

剣豪として名前のあがる宮本武蔵、桂小五郎、清水の次郎長の共通点として、ただ剣に優れているのではなく、相手の観察や、逃足が早かったりと、勝負を避けていたと言われていることです。孫子の言葉に、「百戦百勝は善の善なる者に非ず」とあります。

いま世界の争いを如何にしたら収められるでしょうか。剣道を教える者として子どもたちにしっかりとした回答を示したいですね。

(荏原三丁目・池田 晴夫)